



鳥取市教育センターだより

第8号 平成27年12月21日発行

〒680-0053
鳥取市寺町150番地
TEL 0857-36-6060
FAX 0857-26-3878
E-mail
kyo-center@city.tottori.lg.jp

トリプルスリー

平成27年も残すところ一週間余りとなりました。今年も先生方に支えていただきながら、教育センターが主催する研修も予定どおり実施することができました。特に、11月・12月に実施しました「講師研修会」・「初任者校外研修会」では、会場校の校長先生をはじめ、多くの先生方にお世話になりました。本当にありがとうございました。

今年の流行語大賞に「トリプルスリー（プロ野球：3割・30本塁打・30盗塁）」という言葉が選ばれましたが、講師研修会で次のような感想がありました。

「(略)西尾先生から、教師のトリプルスリーというお話で『授業力・学級経営力・人間関係力』という3つの言葉をいただきました。積極的に前に進み、学ぶ姿勢を大切にしていきたいと思えます。」

この感想を読み、私も先輩から、「教師に必要な3つの力」を教えていただいたことを思い出しました。それは、「指導力（教科指導・生徒指導をはじめ、全てにわたる指導の力）、処理力（文書処理や時間を守るなど、きちんとやれる能力）、対応力（子ども・保護者などへのその都度の対応、危機管理などの力）」です。

「教師は授業で勝負！指導力があればいいんだ。」この考え方はある意味で当たっているかもしれませんが、それだけでは十分ではないと思えます。確かに指導力（授業力も含めて）がなければ教師として話になりません。でも、逆にそれだけでいいのでしょうか。授業をやらせれば拔群だという人の中にも、会議や研修などの時間を守れなかったり、提出物がいつも期限内に出されていなかったりといったこともあるでしょうし、いい発想をするのに周りの人のことを考えずに自分のペースだけでやっている人もいます。他と相談することなく、一人で突っ走ってしまう人もいます。しかし、学校は『組織体』として取り組むことが大切だと思えます。自分のカラーを出しながらも、きっちりとお互いが協力体制をつくって『補完』し合うことも必要なことだと思えます。常に組織の一員であることを意識して行動することが大切であると思えます。

また、教師の仕事が続けていくために必要なことは「3つ」あると思えます。

1つ目は、「丈夫な体と精神力」です。教師の仕事は毎日、息つく間もないほどの忙しい日々が続きます。常に子ども達に笑顔で対応するためには、教師自身がまず、心身共に健康であることが大切だと思えます。ただ、健康だけは自分の思い通りにいかないことですので、充分気をつけながら生活していくしかありませんが…。(無理をしない。すぐに周りの人(同僚・管理職)に相談等)

2つ目は、「創造力」です。子ども達が夢を持ち、将来に向かって楽しく学校生活を送ることの手助けをすることが教師の仕事だと思えます。授業や日常生活で、「子ども達の気持ちをいかにして掴むか」ということや「今こうしたら次はどうなるか」など、その場その場に応じて、先を見越して創造して行動することが大切だと思えます。

そして3つ目は、やはり「人が好きである」ということだと思えます。子ども達との関わり、保護者との関わり、地域の方々との関わり、同僚との関わりなど、教師の仕事は人と関わるのがとても多く、「人が好きである」ことは教師の基礎的な素養であり、最も重要なことだと思えます。

教育センターも「子どもを元気に 先生を元気に 学校を元気に」の「トリプルスリー」で来年も頑張っていきたいと思えます。



教育支援係

鳥取市教育センター保護者研修会

平成27年11月24日（火）

シンガーソングライター講演師 石川達之さんをお招きし、「子どもの力を信じよう！～心に寄り添って～」という演題でお話をいただきました。すなはま教室通級生の保護者12名、市内中学校の保護者3名、教育センター職員10名の計25名が参加しました。

コーヒーとお菓子をいただきながら、カフェのような雰囲気の中で石川さんの歌と語りを楽しみました。石川さんの消防士時代のご経験や、ご家族の病気を通して感じられた「命の重み」「ここに存在することの意味」など、保護者ご自身の思いを重ねて聴き入っておられ、思わず涙する場面もありました。このお話が、不登校に悩んでおられる保護者にとって、「いてくれてよかった」「生まれてくれてありがとう」と原点に戻って、明るく子どもさんとかかわる力になったのではないかと思います。

【保護者の感想より】

- 石川さんの奥様の笑顔が消えてしまった時と、我が子が不登校になった時とを重ねて共感しました。「なぜうちの子が」「なぜ自分たちがこんな思いを・・・」と思うばかりでした。焦らずゆっくり、認めること、寄り添うこと、大切に思うことを続けていこうと思います。
- 想像していた研修会とは違い、楽しみながら参加させていただきました。笑いの中にも考えさせられる点が多々あり、迷いながら子どもと接していた自分の背中を押されたようでした。参加して良かったです。
- 生で歌を聴く機会はめったにないので、心に染み幸せでした。



第3回生徒指導専任相談員研修会

平成27年12月10日（火）

今回の研修会では、2本の実践発表をしていただきました。大規模校、小規模校、それぞれの実践例が大変参考になり、これからの取組に生かしていけるものでした。2グループに分かれての情報交換も行い、1年間の成果と課題を出し合いました。教職員やスクールカウンセラー等と連携し、各校が様々な工夫をされていることがうかがえたとともに、学校相談室の必要性、重要性を確認し合いました。



＜実践発表＞

- ❁千代南中学校
上紙 洋子 先生
- ❁湖東中学校
城戸 知子 先生

【感想より】

ライフスキル支援や、聞き上手であることの大切さを改めて感じました。人数（利用生徒）が多いとか少ないとか関係なく、一人一人に心を込めて接していくことを常に心がけていかなければと感じました。

研修企画係

児童生徒の自信と誇りを授業の力で

12月14日(月)に各学校の学力向上担当者を対象として研修会を開催しました。第1回(6月11日)以降の各学校の取り組み内容をもとに、中学校区グループで成果と課題を確認しました。中学校区間の情報交換では、どのグループも熱のこもった発表や質疑応答が行われました。



《参加者の感想》

- ・中学校区全校で取り組むと成果があると感じた。共通実践を更に進めていきたいという意欲がわいた。
- ・他中学校区の取り組みが聞けて大変刺激になった。これは!と思うことを教職員一丸でやり切りたい。
- ・「学びを支える土台(自治力)」は子どもたち自身で学力を伸ばす上で大切だと感じた。

学力向上研修会

半年間の取り組みを振り返ってみましょう

児童生徒の自信と誇りを授業の力で ～学力向上のためのアプローチ～

学力向上は児童生徒の実態把握から

① 児童生徒は、 何をどう学ぶか、 めあてをつかんでいますか

- (ポイント例)
●つけたい力を明確に(実生活とつなげながら)
●学ぶ(学び合う)意欲が高まる言葉かけ、しかけ

めあてが本当に学習の
動機づけになっていま
すか?

② 児童生徒は、 自ら考え 学んで(学び合っ)ていますか

- (ポイント例)
●ねらいに即した、主活動(話し合い)の目的・視点の設定
●説明重視からゆさぶり・評価重視へ

考え学ぶ主活動が深ま
りのあるものになって
いますか?

③ 児童生徒は、 ふりかえり、 学んだことを実感していますか

- (ポイント例)
●めあてとふりかえり、1時間を確かな学びに
●授業に生きる家庭学習

めあてとまとめ・ふり
かえりに一体感があり
ますか?

45(50)分で、本時の
ねらいを達成する授業が
できていますか?

評価は児童生徒の姿で



鳥取市教育キャラクター
「鳥取ケシヤンくん」

初任者研修会

一人ひとりを伸ばす授業をつくる

初任者3名の授業が公開されました。終了後、授業についての感想やよりよい授業にするためのアイデアについて協議しました。また、日頃悩んでいることについて互いの実践を出し合いました。初任者同士が自主的に意見交換を行い、絆が深まりました。

12月8日 桜ヶ丘中学校
樋片知世 教諭(道徳)

12月10日 面影小学校
半田貴志 教諭(道徳)

12月11日 城北小学校
西尾文枝 教諭(理科)



生徒一人一人が資料をもとにじっ
くり考え意見交換もできました



思わず引き込まれる語りに児童の
手もどんどん挙がりました



しっかりと準備された授業で、実験や
考察に生き生きと取り組みました

ご協力ありがとうございました

先輩に学ぶ

小・中学校全 10 会場で実施しました。先輩の先生の公開授業（実践発表）後、校長先生及び授業（発表）者の先生からお話を聞きました。日頃の悩みの解決だけでなく、先輩の先生の熱意や日々の努力に触れ、教師として自らをふりかえる機会となりました。

ご協力ありがとうございました

（研修会場校）

美保小学校（11/24） 明德小学校（12/3）
河原第一小学校（12/3）
稲葉山小学校（12/4） 末恒小学校（12/18）
湖東中学校（11/17） 東中学校（11/24）
西中学校（12/3） 河原中学校（12/7）
中ノ郷中学校（12/8）

公開授業



講話



「教師として学び続ける者のみ 教える資格あり」

（「鳥取市の学力向上のための9つのアピール」より）

《参加者の感想》

- ・授業やクラスのことですらどうしようと思っていることの解決の糸口が見えた。
- ・どの子も活躍できる場と雰囲気がある授業を見て、先生の子どもを思う限りない愛情を感じた。まずは子どもを好きになることだと思った。
- ・今回の研修で、また一人尊敬できる先生が増えたことに喜びを感じた。先輩から様々なことを学び、よい教師になれるよう努力したい。

《「教師力向上サポート研修」で授業力アップ》

11月16・30日に湖山西小学校で講師の授業公開が行われ、授業づくりについて研修しました。

12/12 English World

ますます英語が好きになる!



小学5・6年生28名が外国語指導助手（ALT）等18名と、クリスマスにちなんだ3つの活動を楽しみました。6年生は、外国人の先生たちとの一対一の英会話に挑戦し、思い出に残る最後のEnglish Worldとなりました。

《参加者の感想》

- ・外国に来たようで、英語を身近に感じられた。
- ・先生方がやさしく教えてくださって話しやすかった。
- ・前回より英語を言うのが楽しかった。また参加したい。

11/18
キャラバン
（賀露小）

好き？嫌い？英語で大きな声で言えました



11/25
キャラバン
（鹿野小）

先生方にスリーヒントクイズを出題しました



12/9
キャラバン
（面影小）

心が通い合う瞬間、笑顔がはじけます



12/16
キャラバン
（湖南学園）

キャラバンで出会った先生たちに感謝!

